

北方型のこの甲虫は北海道、本州中部山岳また台湾でも高山には生息するといわれているが、何れの地にも決して多いものではないらしい。中国山脈の高地では扇ノ山で採集された記録があり、県下では他に城崎郡の三川山での記録もあるが、比較的珍しい甲虫と思うので茲に報告する。

城崎産甲虫数種の記録

高倉康男

1979年8月1日、観光旅行で訪れた城崎で外灯に来ていた甲虫数種を採集したので記録する。

ベーツヒラタカミキリ *Euryoda batesi* Gahan (1♀)

近くの豊岡、香住からの記録(高橋匡、1975)もあるが兵庫県下の記録は大変少ない。

他に、ニセケゴモクムシ *Harpalus pseudophonoides*, チビキイロゴモクムシ *Acupalpus inornatus*, イツホシツヤゴモクムシ *Stenolophus quinquepustulatus*, ゴミムシ *Anisodactylus signatus*, オオツヤホソゴミムシ *Menophilus arciscelis*, ハネナシセスジキマワリ *Strongilium marseuli*, ヒメキマワリ *Plesiophthalmus laevicollis*, ゴマフガムシ *Berosus signaticollis*, ヒメサクラコガネ *Anomala geniculata*, スジコガネ *Anomala testaceipes* が採れた。カミキリについて御教示いただいた高橋寿郎氏に厚く御礼申上げる。

夢前町雪彦山にナガサキアゲハ

堀 紳 二

1978年9月10日に飾磨郡夢前町雪彦山にて、ナガサキアゲハを目撃した。

最初、同行した妹が見つけたもので、光沢のある黒色が見事な、新鮮な雄であった。

この個体は見事に筆者が採り逃がし、あっという間に山の中へ消えてしまった。

しかし、しばらくすると、また悠々と川に沿って飛んで来た。どうも蝶道を作っているらしく、その後も5回程同じ所を飛ぶのを観察した。又、筆者が観察していた所より、ずっと道を下った所でも妹は目撃したとのことで、目撃した個体が非常に新鮮なことでもあり、一時的に発生していたのかもしれない。この疑問をもって今年(1979)は4月、5月、7月に各1回当地を訪れたが目撃

はできなかった。

県下の採集例

小林桂助

兵庫県下としては比較的珍しいと思われる昆虫の近年の採集例を下記に報告する。

トゲナナフシ	1978年10月21日	1頭	西紀町
ヨコズナサシガメ	1978年6月5日	1頭	養父町
	1979年5月21日	1頭	西紀町
ナガサキアゲハ	1979年7月15日	1♀	六甲登山口自宅にて目撃
ダイセンシジミ	1978年6月17日	1頭	篠山町
ウラグロシジミ	1978年6月24日	1♂	氷ノ山
ヒサマツミドリシジミ	1975年7月20日	1♀	関宮町
メスアカミドリシジミ	1977年6月11日	1♂	大河内町

オオシロカミキリを神戸市生田区で採集す

三木進

オオシロカミキリ (*Olenecamptus cretaceus*) は、これまで六甲山、神戸市東灘区住吉、同区御影、同市長田区明泉寺町で採集されているが、宅地造成などで絶滅した産地も多いと思う。最近では、小倉滋氏が美方郡浜坂町(1978年7月)で記録されているが、筆者は再び神戸市内での分布を確認したので報告しておく。

神戸市生田区北野町二、北野天満宮境内で、1♀、2♀、随、1979、

午後9時半ごろ、境内の水銀灯から約60センチ離れたカエデの幹(地上3.5m、直径25センチ)にとまっていた。触角の一部が欠けており、かなりいたんだ個体だった。同天満宮は、風見鶏の館のすぐ北だが、背後には布引山が迫っており、緑は多い。